

■ 概要

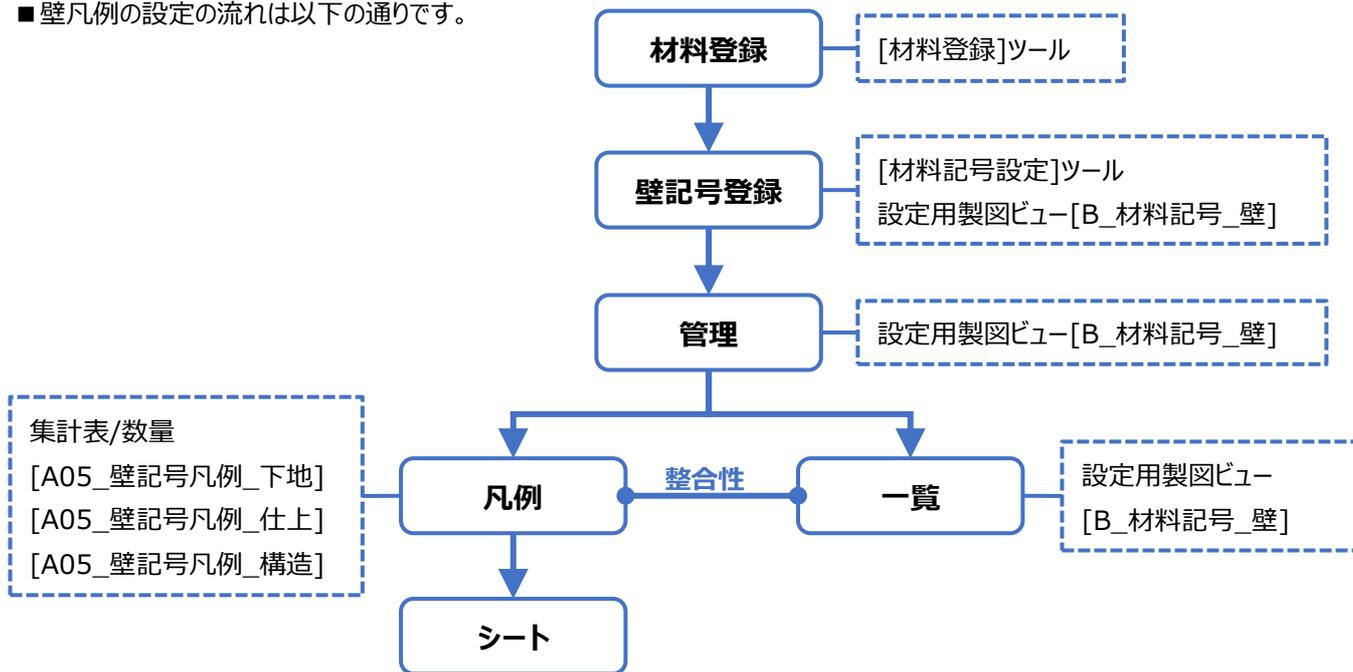
BooT.oneテンプレートの凡例について解説します。
壁凡例、ガラス種別図、範囲図の3種類の凡例について記載します。

■ 各凡例の登録・管理・一覧・凡例の設定は以下の通りです。

	登録	管理	一覧	凡例
壁	①マテリアル登録 [材料登録]ツール ②壁記号登録 設定用製図ビュー [B_材料記号_壁]	設定用製図ビュー [B_材料記号_壁]	設定用製図ビュー [B_材料記号_壁]	集計表/数量 [A05_壁記号凡例_下地] [A05_壁記号凡例_仕上] [A05_壁記号凡例_構造]
ガラス種別	塗り潰し領域のタイプ複製	塗り潰し領域のタイププロパティ	設定用製図ビュー [B_防水・断熱・ガラス]	凡例 [A23_ガラス種別] 集計表/数量 [A23_凡例_ガラス]
範囲図	塗り潰し領域のタイプ複製	塗り潰し領域のタイププロパティ	設定用製図ビュー [B_防水・断熱・ガラス]	凡例 [A30_防水] [A31_断熱] 集計表/数量 [A30_凡例_防水] [A31_凡例_断熱]

※ 壁凡例を代表して記載しますが、天井と床も同じ考え方です。

■ 壁凡例の設定の流れは以下の通りです。



■ 壁凡例の設定

壁の凡例は壁記号を登録・設定し、部位ごとに集計した集計表を凡例として使用しています。

1.)壁の材料登録

[B.建築]タブ → [マテリアル]パネル → [マテリアル編集▼] → [材料登録]ツールにて、壁のマテリアルを登録します。
登録したマテリアルは、壁記号の設定にて使用します。

※[材料登録]ツールの使用法はツールヘルプをご参照ください。

2.)壁記号の登録

- ①壁記号はプロジェクトブラウザ → ビュー → 建築 → 設定用 → 製図ビュー → [B_材料記号_壁]ビューで設定する。
 [B.建築]タブ → [マテリアル]パネル → [マテリアル編集▼] → [材料記号編集]ツール → 「壁」選択でビューが開く。

プロジェクトブラウザ - プロジェクト1

- [-] [O] ビュー (標準)
 - [-] 建築
 - [-] * A_作業用
 - [-] 平面図
 - A_作業用 配置図
 - A_作業用 1階
 - A_作業用 2階
 - A_作業用 R階
 - 天井伏図
 - 3Dビュー
 - A01_概要
 - A02_区分
 - A03_特記
 - A05_耐火リスト・壁/天井リスト
 - A06_敷地
 - A07_延床
 - A22_建具
 - [-] 設定用
 - [-] 製図ビュー
 - B_サムネイル
 - B_テンプレート改訂履歴
 - B_マイプロパティ設定
 - B_材料表 凡例定義
 - B_材料記号_壁**
 - B_材料記号_天井
 - B_材料記号_床
 - B_開始ビュー
 - B_防水・断熱・ガラス

製図ビュー[B_材料記号_壁]

■ 材料記号の設定

- A-0501 耐火リスト・壁/天井リスト 「材料記号」欄で集計表示として出図される。
- B.建築 / 壁 / 高層壁 ツール で使用する構成要素にリストアップされる。
- 材料記号を構成する材料(マテリアル)を登録するには、下記表の各セルを選択し、プロパティのM01,M02,M03に上記で入力する。
- 材料(マテリアル)を新規に作成するには、B.建築 / マテリアル / 材料登録 ツール を使う。
- 記号は特殊文字を除いて、英字半角とする。

1. 壁の構成材料を編集 (構造材を含む壁用)

構造材			下地材			仕上材				
構造	01	R	RC	下地	00	-	-	仕上	00	-
構造	02	P	PCa	下地	01	A	薄塗りモルタル	仕上	01	A
構造	03	C	CB100	下地	02	B	防水剤	仕上	02	B
構造	04	C2	CB120	下地	03	C	耐火G8 H9.5	仕上	03	C
構造	05	C3	CB150	下地	04	D	耐火G8 H12.5	仕上	04	D
構造	06	A	ALC100	下地	05	E	耐火G8 H12.5	仕上	05	E
構造	07	A2	ALC125	下地	06	F	耐火G8 H9.5	仕上	06	F
構造	08	A5	ALC150	下地	07	G	FK 18	仕上	07	G
構造	09	F	FCP60	下地	08	H	耐火G8 H12.5	仕上	08	H
構造	10	F7	FCP75	下地	09	I	耐火G8 H12.5	仕上	09	I
構造	11	L	LG55	下地	10	J	耐火G8 H12.5	仕上	10	J
構造	12	L5	LG50	下地	11	K	強化G8 H21	仕上	11	K
構造	13	L9	LG50	下地	12	-	-	仕上	12	-
構造	14	L11	LG100	下地	13	-	-	仕上	13	-
構造	15	W	木軸11	下地	14	-	-	仕上	14	-
構造	16	W3	木軸32	下地	15	-	-	仕上	15	-
構造	17	S	鉄骨	下地	16	-	-	仕上	16	-
構造	18	-	-	下地	17	-	-	仕上	17	-
構造	19	-	-	下地	18	-	-	仕上	18	-
構造	20	-	-	下地	19	-	-	仕上	19	-
構造	21	-	-	下地	20	-	-	仕上	20	-
構造	22	-	-	下地	21	-	-	仕上	21	-
構造	23	-	-	下地	22	-	-	仕上	22	-
構造	24	-	-	下地	23	-	-	仕上	23	-

※ 材料記号(構造) : X,Y,Zを除く(英数字3文字以内)
 ※ 性能値は記入せず、凡例「A05_壁凡例」で定義する。 ※ 壁紙(A),壁紙(B),壁シートなどの区別はない ※ 仕上表では区別する

2. 壁の構成材料を編集 (構造材を含まない壁用)

部位	記号	材料 M01	
下地 仕上	01	g	GLONDF
下地 仕上	02	y	防水剤
仕上	03	h	耐火剤
仕上	04	h	支持金物
仕上	05	n	面材

- ②壁記号は部位ごとに一般注釈[B_材料_定義]ファミリで構成・管理している。

	壁記号 ↓			↓ 材料		
構造用 →	構造	壁	01	R	RC	
下地用 →	下地	壁	01	A	薄塗りモルタル	-
仕上用 →	仕上	壁	01	A	壁紙・張物	

- ③部位ごとに配置された一般注釈[B_材料_定義]ファミリの未入力の項目に上から順に新しい壁記号を登録する。
 [B.建築]タブ → [マテリアル]パネル → [マテリアル編集▼] → [材料記号設定]ツールを使って登録・修正が可能。
 [B_材料_定義]ファミリのプロパティを直接修正して登録・修正することも可能。

※[材料記号設定]ツールの使い方はツールヘルプをご参照ください。

構造	壁	16	W3	木軸32
構造	壁	17	S	鉄骨
構造	壁	18	-	-

壁記号を設定する ↑ ↑ [材料登録]ツールで登録した壁の材料を割り当てる

※壁記号の設定方法の詳細は[画面壁]ツールのツールヘルプをご参照ください。

ツールヘルプの10ページ目以降に記載があります。

3.)壁記号の管理と一覧

設定した壁記号は部位ごとに[B_材料記号_壁]のビューに配置されています。

壁記号の追加・編集、一覧は全てこのビューで管理します。

[材料記号設定]ツールを使った場合は、登録内容がビューに自動で反映されます。

1. 壁の構成材料を編集 (構造材を含む壁用)

構造材				下地材				仕上材						
構造	壁	01	R	RC	下地	壁	00	-	-	仕上	壁	00	-	-
構造	壁	02	P	PCa	下地	壁	01	A	薄塗りモルタル	仕上	壁	01	A	壁紙・珪物
構造	壁	03	C	CB100	下地	壁	02	B	モルタル等	仕上	壁	02	B	塗装・吹付
構造	壁	04	C2	CB120	下地	壁	03	C	準不燃GB t9.5	仕上	壁	03	C	化粧FK t6
構造	壁	05	C5	CB150	下地	壁	04	D	不燃GB t12.5	仕上	壁	04	D	化粧FK t5
構造	壁	06	A	ALC100	下地	壁	05	E	不燃GB t12.5	仕上	壁	05	E	石類
構造	壁	07	A2	ALC125	下地	壁	06	F	FK t6	仕上	壁	06	F	タイル類
構造	壁	08	A5	ALC150	下地	壁	07	G	FK t8	仕上	壁	07	G	グラスウール
構造	壁	09	F	ECP60	下地	壁	08	H	準不燃防水GB t12.5	仕上	壁	08	-	-
構造	壁	10	F7	ECP75	下地	壁	09	I	準不燃防水GB t12.5	仕上	壁	09	-	-
構造	壁	11	L	LGS65	下地	壁	10	J	準不燃防水GB t12.5	仕上	壁	10	-	-
構造	壁	12	L5	LGS50	下地	壁	11	K	強化GB t21	仕上	壁	11	-	-
構造	壁	13	L9	LGS90	下地	壁	12	-	強化GB t21	仕上	壁	12	-	-
構造	壁	14	L1	LGS100	下地	壁	13	-	-	仕上	壁	13	-	-
構造	壁	15	W	木軸41	下地	壁	14	-	-	仕上	壁	14	-	-
構造	壁	16	W3	木軸32	下地	壁	15	-	-	仕上	壁	15	-	-
構造	壁	17	S	鉄骨	下地	壁	16	-	-	仕上	壁	16	-	-
構造	壁	18	-	-	下地	壁	17	-	-	仕上	壁	17	-	-
構造	壁	19	-	-	下地	壁	18	-	-	仕上	壁	18	-	-
構造	壁	20	-	-	下地	壁	19	-	-	仕上	壁	19	-	-
構造	壁	21	-	-	下地	壁	20	-	-	仕上	壁	20	-	-
構造	壁	22	-	-	下地	壁	21	-	-	仕上	壁	21	-	-
構造	壁	23	-	-	下地	壁	22	-	-	仕上	壁	22	-	-
構造	壁	23	-	-	下地	壁	23	-	-	仕上	壁	23	-	-

↑ [材料登録]ツールで登録した壁の材料を割り当てる

※ 材料記号(構造) : X,Y,Zを除く(英数字3文字以内)

※ 性能壁は記入せず、凡例「A05_壁凡例」で定義する。

※ 壁紙(A),壁紙(B),塩ビシートなどの区別はしない

※ 仕上表では区別する

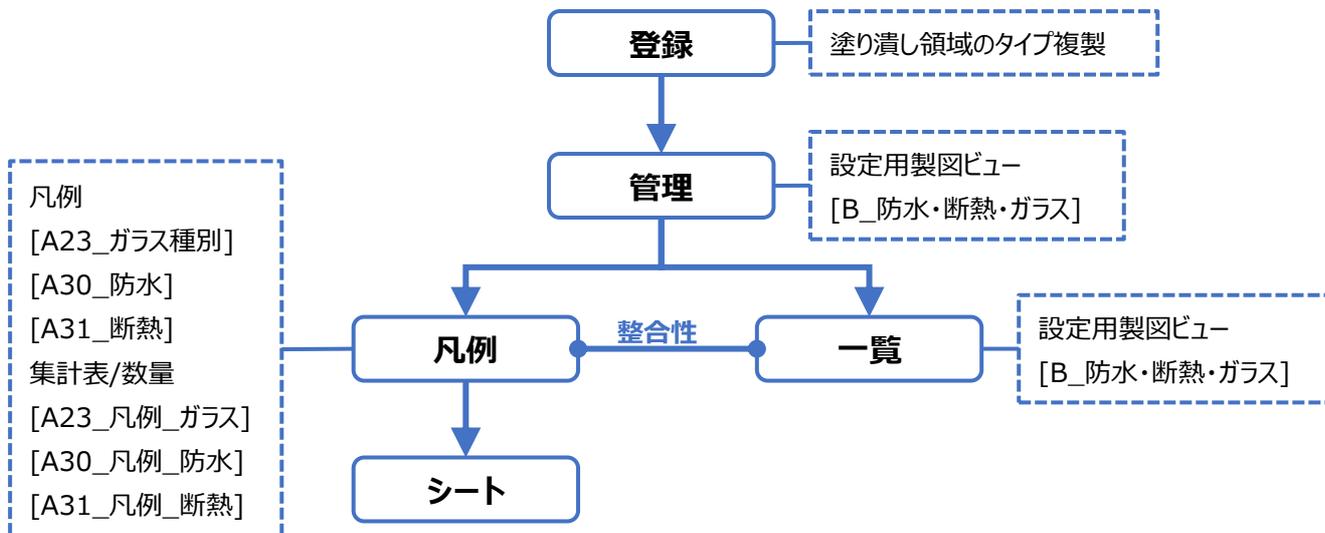
4.)壁記号の凡例

設定した壁記号はプロジェクトブラウザ → 集計表/数量 → 建築 → A05 → [A05_壁記号凡例...]の集計表にて部位ごとに集計しています。

集計表は壁の凡例としてシート[A0501 - 耐火リスト・壁/天井リスト]へ配置しています。

The screenshot shows the software interface with a project browser on the left and a table of wall materials on the right. The project browser shows a tree structure with 'A05' expanded, and 'A0501 - 耐火リスト・壁/天井リスト' selected. The table on the right is titled '材料記号 壁' and is divided into three columns: '構造材' (Structural Material), '下地材' (Underlayment Material), and '仕上材' (Finish Material). Each column contains a list of materials with their respective codes and names. The table is highlighted with a green border, and arrows point from the project browser to the table. Below the main table, there is a smaller table titled '材料記号 天井' (Material Code Ceiling) with similar columns and data.

■ ガラス種別・範囲図の設定の流れは以下の通りになっています。



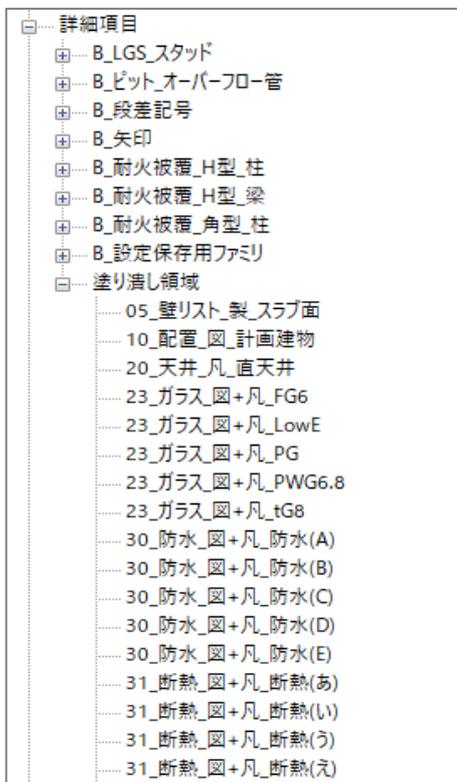
■ ガラス種別・範囲図の設定

BooT.oneでのガラス種別・範囲図は、塗り潰し領域を使用して表現しています。

塗り潰し領域のタイププロパティにて仕様情報を入力し、ビューと凡例ビューで同じ塗り潰し領域を配置することにより、仕様情報の整合を図っています。

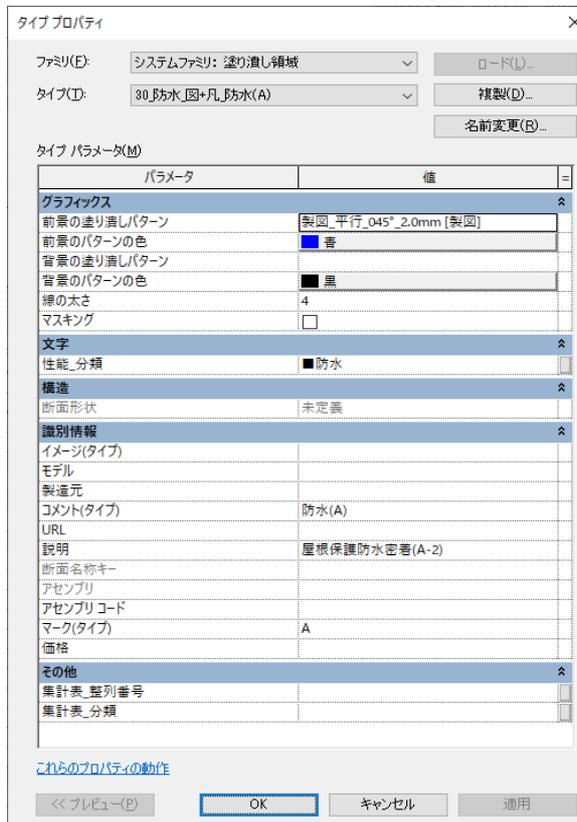
プロジェクトブラウザ

目的に応じて塗り潰し領域のタイプを用意

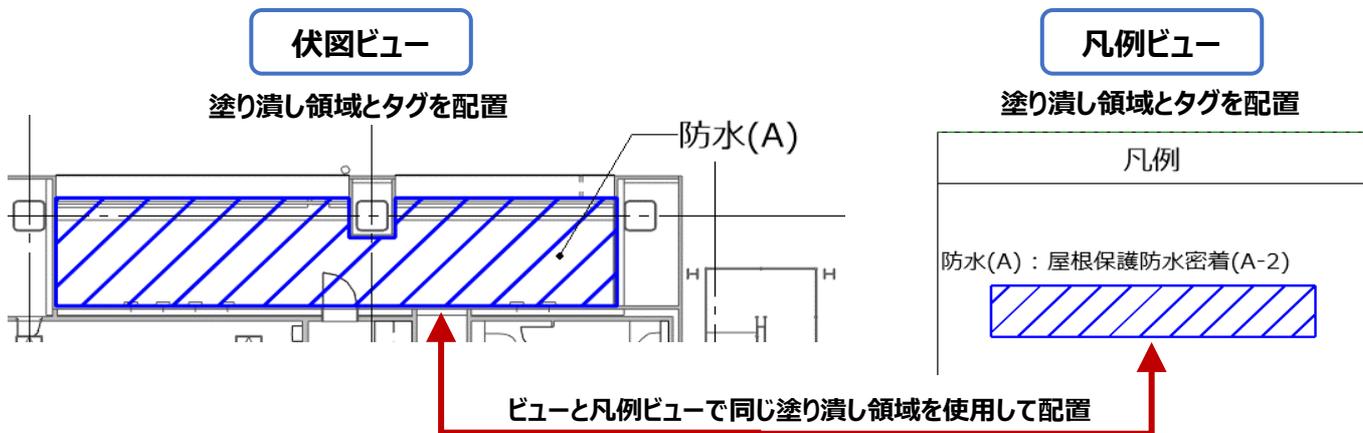


タイププロパティ

塗り潰し領域のタイプパラメータにて仕様情報を入力



例)範囲図での凡例の使用方法



文字	
性能_分類	■防水
構造	
断面形状	未定義
識別情報	
イメージ(タイプ)	
モデル	
製造元	
コメント(タイプ)	防水(A)
URL	
説明	屋根保護防水密着(A-2)
断面名称キー	
アセンブリ	
アセンブリコード	
マーク(タイプ)	A
価格	
その他	

- 凡例で使用するガラス種別・範囲図の塗り潰し領域は以下のビューで一覧・管理を行っています。
 プロジェクトブラウザ → ビュー → 建築 → 設定用 → 製図ビュー → [B_防水・断熱・ガラス]にて塗り潰し領域を配置し、さらにマルチカテゴリタグを配置しています。

プロジェクトブラウザ - プロジェクト1

- [-] ビュー (標準)
 - [-] 建築
 - [+] * A_作業用
 - [+] A01_概要
 - [+] A02_区分
 - [+] A03_特記
 - [+] A05_耐火リスト・壁/天井リスト
 - [+] A06_敷地
 - [+] A07_延床
 - [+] A22_建具
 - [+] 設定用
 - [-] 製図ビュー
 - B_サムネイル
 - B_テンプレート改訂履歴
 - B_マイプロパティ用設定
 - B_材料表_凡例定義
 - B_材料記号_壁
 - B_材料記号_天井
 - B_材料記号_床
 - B_開始ビュー
 - B_防水・断熱・ガラス**

製図ビュー[B_防水・断熱・ガラス]

30 防水	31 断熱	23 ガラス
防水(A) : 屋根保護防水密着(A-2)	断熱(あ) : ポリスチレンフォーム(3種b)敷込 t30	LowE : FLG6#+A6+FLG6
防水(B) : 屋根露出防水絶縁工法(D-3)	断熱(い) : 押出法ポリスチレンホーム打込 t40	PG : FLG6+A6+FLG6
防水(C) : ウレタン系塗膜防水(X-2)	断熱(う) : 発泡硬質ウレタンフォーム t20 吹付	PWG6.8 : 網入層基板ガラスt6.8
防水(D) : ケイ酸質系塗布防水(C-UI)	断熱(え) : ポリスチレンフォーム打込 t30	TG8 : 強化ガラスt8
防水(E) : ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)		FG6 : 型板ガラスt6

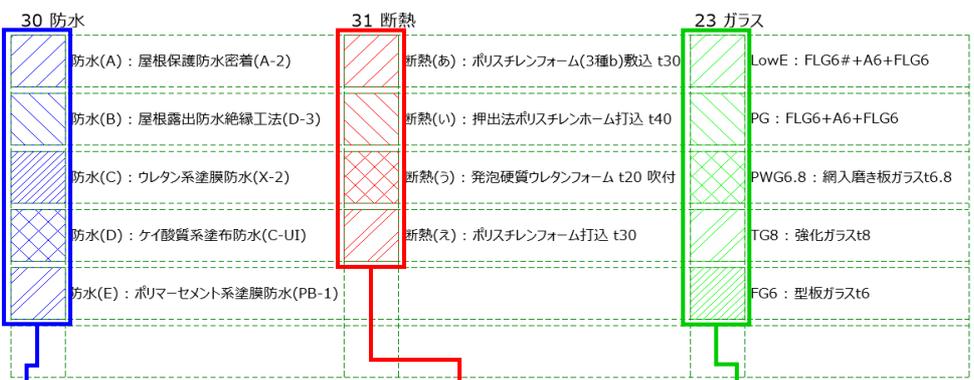
↑ マルチカテゴリタグを配置

■ 設定用製図ビューに配置した塗り潰し領域を集計した集計表は、A0401-材料表、A2201-建具一般事項のシートに配置されています。プロジェクトブラウザ → 集計表/数量 → 建築 → A23/A30/A31グループ内に集計表を作成しています。

プロジェクトブラウザ - プロジェクト1

- 集計表/数量 (標準)
- 建築
 - 作
 - A00
 - A04
 - A05
 - A07
 - A12
 - A20
 - A22
 - A23
 - A23_凡例_ガラス ←
 - A26
 - A30
 - A30_凡例_防水 ←
 - A31
 - A31_凡例_断熱 ←
 - A61

製図ビュー[B_防水・断熱・ガラス]



プロジェクト1 - 集計: A30_凡例_防水

A	B	C	D	E
■ 防水				
防水(A)	屋根保護防水密着(A-2)			
防水(B)	屋根露出防水絶縁工法(D-3)			
防水(C)	ウレタン系塗膜防水(X-2)			
防水(D)	ケイ酸質系塗布防水(C-UI)			
防水(E)	ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)			

プロジェクト1 - 集計: A23_凡例_ガラス

A	B
FG6	型板ガラスt6
LowE	FLG6#+A6+FLG6
PG	FLG6+A6+FLG6
PWG6.8	網入磨き板ガラスt6.8
TG8	強化ガラスt8

プロジェクト1 - 集計: A31_凡例_断熱

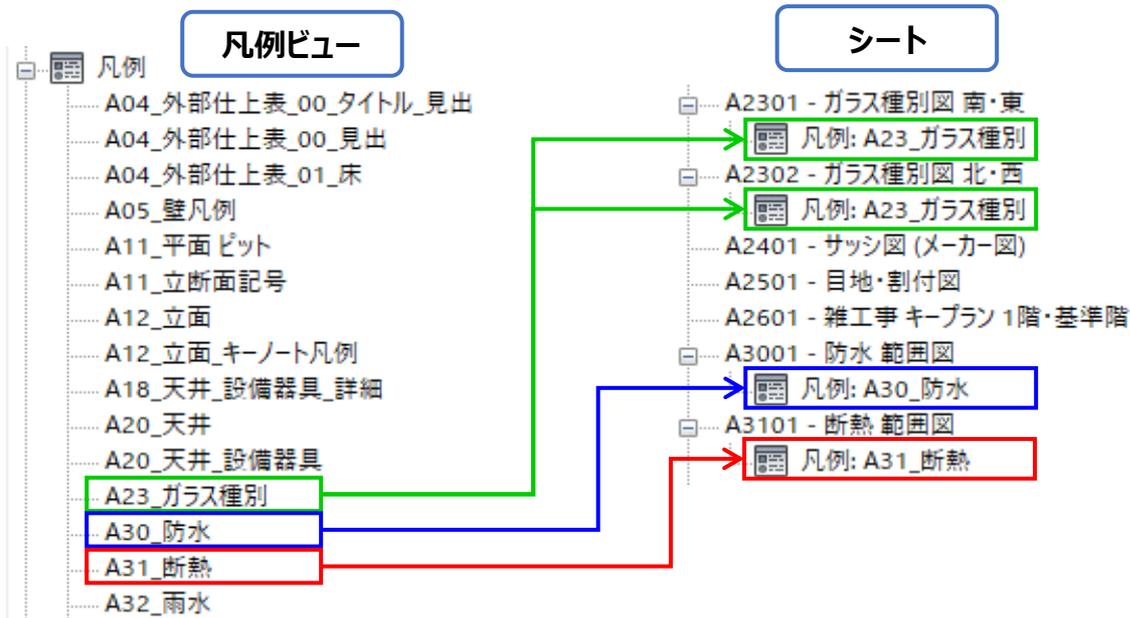
A	B	C	D	E
■ 断熱				
断熱(あ)	ポリスチレンフォーム(3種b)敷込 t30			
断熱(い)	押出法ポリスチレンホーム打込 t40			
断熱(う)	発泡硬質ウレタンフォーム t20 吹付			
断熱(え)	ポリスチレンフォーム打込 t30			

シート

- A0303 - 特記仕様書 (3)
- A0401 - 材料表
 - 集計: A04_材料表_材料1_床/壁
 - 集計: A04_材料表_材料2_天井/樺木/廻縁/共通
 - 集計: A04_材料表_材料3_外部
 - 集計: A04_材料表_マルチカテゴリ4_雑工事/ユニット工事
 - 集計: A04_材料表凡例_アルミニウム合金の表面処理
 - 集計: A04_材料表凡例_塗料
 - 集計: A04_材料表凡例_材料・仕上・他1
 - 集計: A04_材料表凡例_材料・仕上・他2
 - 集計: A04_材料表凡例_法_内装制限
 - 集計: A04_材料表凡例_法_内装制限の根拠1
 - 集計: A04_材料表凡例_法_内装制限の根拠2
 - 集計: A04_材料表凡例_法_排煙
 - 集計: A30_凡例_防水 ←
 - 集計: A31_凡例_断熱 ←
- A0402 - 外部仕上表

- A2001 - 天井伏図 1階
- A2201 - 建具 一般事項
 - 製図ビュー: 一般事項
 - 集計: A23_凡例_ガラス ←
- A2203 - 建具 キープラン 1階

■ 種別・範囲図の凡例として使用するビューは凡例ビューにて作成し、シートに配置します。



凡例ビュー[A23_ガラス種別]

凡例
LowE : FLG6#+A6+FLG6
PG : FLG6+A6+FLG6
PWG6.8 : 網入磨き板ガラスt6.8
TG8 : 強化ガラスt8
FG6 : 型板ガラスt6

凡例ビュー[A30_防水]

凡例
防水(A) : 屋根保護防水密着(A-2)
防水(B) : 屋根露出防水絶縁工法(D-3)
防水(C) : ウレタン系塗膜防水(X-2)
防水(D) : ケイ酸質系塗布防水(C-UI)
防水(E) : ポリマーセメント系塗膜防水(PB-1)

凡例ビュー[A31_断熱]

凡例
断熱(あ) : ポリスチレンフォーム(3種b)敷込 t30
断熱(い) : 押出法ポリスチレンホーム打込 t40
断熱(う) : 発泡硬質ウレタンフォーム t20 吹付
断熱(え) : ポリスチレンフォーム打込 t30